

中津市議会議員 大塚 正俊

まちづくり 通信

発行；大塚まさとし後援会 中津市新大塚町 384 TEL・Fax 0979-22-6972
携帯 090-2508-7959 E-mail masatoshi@m-ohtsuka.com
URL (ホームページ) <http://www.m-ohtsuka.com/>



“豪雨災害から5年、あの災害の記憶を風化させてはなりません。”

平成24年7月3日、14日、かつて経験したことのない豪雨による山国川他の河川の氾濫等により、行方不明者1名、家屋の全壊・半壊、床上・床下浸水の被害や道路への崩土、路肩や橋りょうの損壊、農地災害等の被害が多数発生しました。

その豪雨災害から5年、やりきれない深い悲しみを乗り越え、地元や国、県、市による復旧・復興が進められてきました。

この教訓を活かし、二度とあのような災害を繰り返さないために、防災・減災を推進し、安全で安心な住みよいまちづくりに向けて頑張ります。



災害復旧工事の終わった馬溪橋（耶馬溪町平田地区）

第2回定例市議会（6月議会）は、6月1日から30日の30日間開催されました。平成29年度一般会計補正の予算議案1件、条例議案7件、その他議案10件、人事案件22件、報告案件3件、請願2件、意見書6件、計51件を審議し、請願2件、意見書2件を除き原案通り可決、承認しました。

■ 6月定例議会で決まったこと。【抜粋】

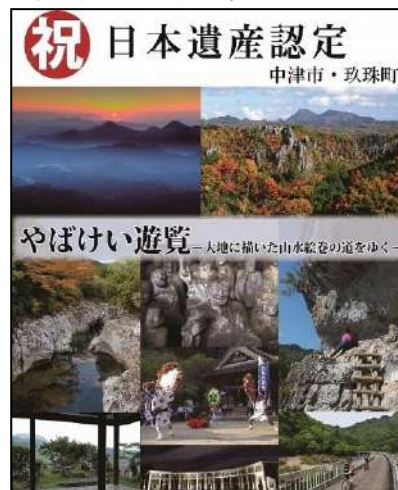
1. 平成29年度一般会計補正予算；補正額 5,524 万円（補正後予算額 418 億 1,592 万円）

□文化財保護推進事業；約 5,340 万円

- ・中津玖珠日本遺産推進協議会補助金（サイクリングロード整備、モニターツアーの実施、日本遺産ストーリーの映像化、BS番組放映、パンフレットの作成、案内板・説明版設置、耶馬溪紀行（田山花袋）の復刻版発刊など）

□教育振興事業；約 184 万円

- ・スクールソーシャルワーカーの報酬の引上げ
1500円→2500円/hr、週2日・4日勤務×各1名



2. 条例の一部改正（抜粋）

□中津市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

- ・国に準じて、保育所に入所できない乳幼児の保護者の育児休業延長を認める制度を規定

3. 財産の取得

□整氷車の購入

- ・コアやまくにスケートリンクで使用する整氷車の老朽化（21年目）に伴う更新
- ・取得価格；約 2,130 万円



整氷車のイメージ

4. 委託契約の締結

□歴史博物館（仮称）展示製作委託契約の締結

- ・契約金額；約 2 億 1,006 万円
- ・展示ケース等製作（約 1 億 1,000 万円）、グラフィック、サイン製作（3,000 万円）、模型造形・複製品製作（3,000 万円）、映像・情報システム・ソフト製作（2,000 万円）など



歴史博物館（仮称）俯瞰イメージ

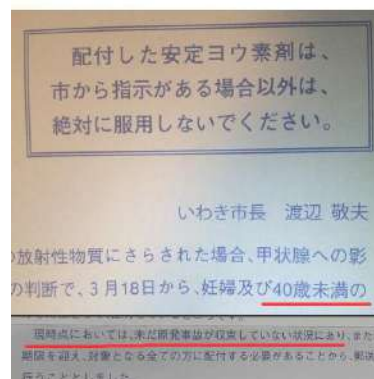
5. 請願（不採択）

□川内・伊方・玄海原発事故への備えとして安定ヨウ素剤の市民への事前配布を求める請願



6. 意見書（私たちの会派が提出したもの）

- 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書（採択）
- 地方財政の充実・強化を求める意見書（採択）
- 地方バス補助の上限引き下げに反対する意見書（採択）
- 慎重な憲法論議を求める意見書（不採択）



6月定例市議会の一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

1. 人口減少に立ち向かう

- ①旧下毛地域の人口の推移は
- ②人口減少の著しい本耶馬溪町、耶馬溪町、山国町の将来人口予測を作成すべき
- ③まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標の実績
- ④待ったなしの過疎地域対策

2. 日本遺産を地域活性化に活かす

- ①認定を地方創生に繋げる仕掛けづくり



1. 人口減少に立ち向かう（抜粋）

〔情勢〕今、地方は大きな岐路に立たされています。これまでも指摘されてきた「人口減少」がいよいよ深刻な段階を迎え、多くの過疎地域の住民が、将来に不安を感じています。

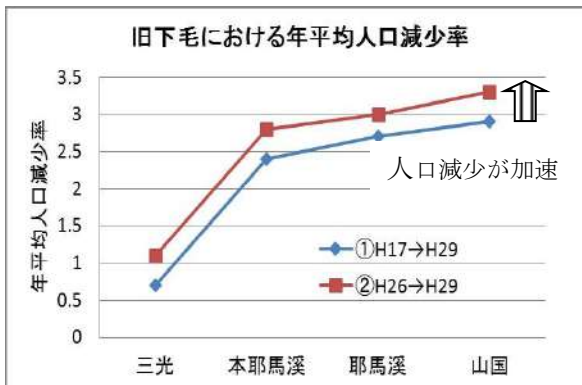
過疎地域の人口減少の原因は「少子化」と「人口流出」、この2つです。長年にわたって地方をむしばんできた、この構造的な問題に果敢に挑戦し、人口減少の流れに歯止めをかけ、反転させない限り、地方に未来はありません。

中津市では、平成27年10月、人口減少対策や雇用対策など地方創生に向けて実施する施策を示した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「人口ビジョン」を策定して、1年8カ月が経過しました。

(1) 旧下毛地域の人口の推移

＜質問＞平成17年からの旧下毛地域の人口の推移はどのようなになっているのか。また、総合戦略の取り組みによって、人口減少に歯止めがかかっているのかお伺いします。

【答弁】人口減少問題は、旧下毛地域に限らず、全国的な課題であり、歯止めをかけると言うよりは、減少傾向を緩やかにしていくことだと考えております。このため、移住・定住対策を引き続き行っていくとともに、制度の拡充についても検討していきます。



(2) 待ったなしの過疎地域対策

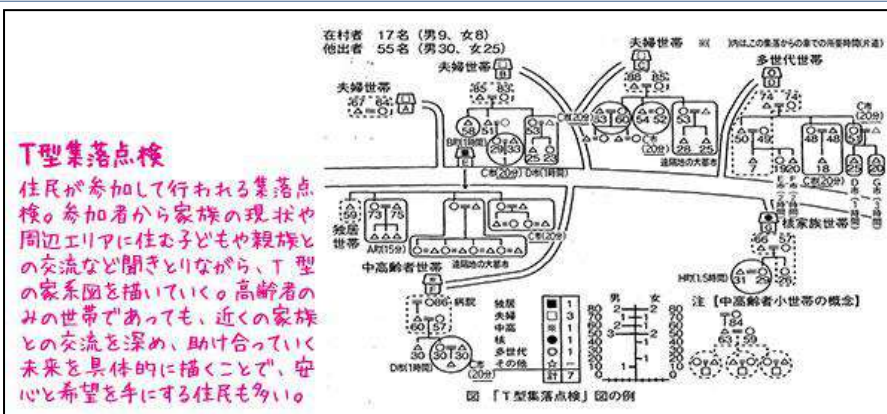
① 集落点検活動による「地域の夢プラン」の策定

＜質問＞残念ながら、直近の12年間と3年間を比較すると人口減少は加速しています。人口減少の原因である「転出超過」の対策として、移住・定住対策が急務です。

移住、定住促進のキーワードは、「その地域で暮らす人」です。山口県では集落点検活動による「地域の夢プラン」の策定を推進しています。

モノや数字ではなく、実際の人々の暮らしの真実を把握し、過疎集落に暮らす人々に自信を与え、住民が主体となって地域の未来を描く、元熊本大学徳野教授が提唱する「T型集落点検」を実施しては如何でしょうか。

【答弁】集落点検活動については、今年、徳野教授が旧下毛地域に来る予定となっており、中山間地域のコミュニティの維持・活性化のため、先生と協力ができればと考えています。



② 移住・定住の促進

＜質問＞日田市では、受け入れに前向きな地域を認定する制度を設けて、認定されると交流イベントの開催費を助成するなど、地域の受け入れ強化に努めています。中津市も移住者の受け入れ態勢を強化すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】昨年5月に発足した「移住支援なかつ」に、地域毎に移住サポーターを配置しています。その方々等と協力して、モニターツアー等のイベントを実施し、移住者の受け入れを強化していきます。

＜質問＞旧下毛地域における空き家バンクHPへの登録件数は35件で、内9件は契約済や交渉中のため実質は26件となっています。

実際に、移住者を受け入れる家が確保できないのであれば、市が住宅を購入し、リフォームして賃貸する等、旧下毛地域で人口減少の著しい地域に市営の移住住宅を確保しては如何ですか。



空家バンクに登録された物件

【答弁】本年度のモデル事業として、子育て世帯の移住・定住を促進するため、山国町の市営成政住宅1戸を子育て世帯住宅用に改修する事業を進めています。この事業効果の検証を行いながら、今後、他の地域への展開を検討していきます。

③小規模多品目農業の指導、試験栽培

＜質問＞農業をしたい移住者や過疎化対策として、小規模多品目農業の指導、試験栽培が必要と考えています。

日本農業新聞の「2017年農畜産物トレンド調査」に挙げられている通常のニンジンよりもリコピンを多く含む「京くれない」やジャガイモの「インカのめざめ」などの売れ筋野菜、注目野菜の苗・種の配付や、集落単位での奨励野菜の試験栽培を実施しては如何ですか。



【答弁】平成26年度「道の駅なかつ」の開設に併せて、JA なかつ農業学校を開校し、トマト、ピーマン、ブロッコリーなどを栽培する小規模多品目農業に向けた栽培研修を行っています。

また、試験栽培については、平成28年度に売れ筋品目として平坦部では高糖度かんしょ(かん太くん)、中山間地域では、ジャガイモ(シンシア)などの試験栽培を行っています。今年度も、新しい品目を県の指導の下で、試験栽培を行う予定としています。

＜質問＞今人気のアボガドの試験栽培を手掛けては如何でしょうか。99%が輸入で、輸入量が20年間で13倍に増え、単価(600円/個)も高く、農作業が比較的楽で、農家の収入安定や高齢化、担い手不足に対して期待されています。市として、このように需要が高く、人気のある果物を選定・奨励し、苗を配付するなどを検討しては如何ですか。



庭での試験栽培用に購入したアボガドの苗木

【答弁】アボガドの日本での栽培は、年間を通じて10度以上ある地域で和歌山県南部、鹿児島県奄美大島、沖縄県、高知県など、比較的温暖な地域で行われており、中津市内での栽培は厳しいと思われます。新たな作物推進を行うにあたっては、作物の特性、地域性、販売先の確保を踏まえて推進を行っていきたいと考えています。

④小・中学生の農家体験学習の受入れ、農家民泊の推進

＜質問＞長期的な視点での移住者対策、過疎化対策として、農家民泊による都会の子ども達の田舎暮らし体験を通して、その家族や子ども達との絆を深め、お米や野菜の契約販売等につなげている仙北市の取り組みが参考となります。

中津市として、小・中学生の農家体験学習の受入れや移住に繋がる農家民泊を推進してはどうかと考えますが如何ですか。

【答弁】農家体験学習については、本耶馬溪の地域住民が主体となって運営している「やかた田舎の学校」において実施されています。今後は、こうした取り組みを移住体験ツアーへ組み込む等、検討していきます。

農家民泊については、行政主導では、継続的な取組みは難しいと考えています。そのため、地域の農家から実施したい旨の相談等があれば様々な支援を行い、農家民泊を推進していきます。



宮崎県諸塚村の農家民宿

2. 日本遺産を地域活性化に活かす（抜粋）

〔情勢〕今年4月28日、中津市・玖珠町にまたがる広大な景勝地・耶馬溪の歴史や文化を語るストーリー「やばけい遊覧～大地に描いた山水絵巻の道をゆく～」が日本遺産に認定されました。

ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

(1) 認定を地方創生に繋げる仕掛けづくり

＜質問＞土日祝日に、中津玖珠間を結ぶ路線バスルートがないのが大きな課題です。日本遺産認定を活かすために路線バスの拡充が必要と考えますが如何ですか。

【答弁】現在、中津と玖珠を結ぶ路線バスは、平日のみ中津から玖珠方面へ1日6便、玖珠から中津方面へ1日5便運行しています。

今回の日本遺産認定を活かすため、これらの既存のバス利用のPRを行うとともに、土日祝日の中津市と玖珠町とを結ぶバスの拡充について、公共交通と観光の両面からバス事業者と協議します。

深耶馬溪駐車場前時刻表

土・日・祝 Sat・Sun・Hol		
行先 For	時刻 時刻 時刻 Via	行先 For
6		6
7		7
8		8
9		9
10		10
11		11
12		12
13		13
14		14
15		15
16		16
17		17
18		18
19		19
20		20
21		21
22		22
凡例		凡例

【私の主張】日本遺産を地域活性化につなげるためには、①日本遺産のストーリーを、1日、1泊、2泊等、滞在時間や季節に合わせて体感できるコースの組み立て、受け手本位の広報活動②滞在時間を延長させるための飲食や宿泊機能の強化③ガイドの育成や将来に渡る人材育成の仕組みづくり等が必要と考えています。

活動日誌 主な活動の一部をご紹介します。

月日	曜日	活動内容
4月2日	(日)	新大塚町子ども御輿まつり、大塚町春祭り
4月4日	(火)	明蓮寺仏教壮年会総会、薬師寺春彼岸・永代経法要
4月5日	(水)	タンDEM自転車公道走行解禁記念お試し走行
4月7日	(金)	勤労協OB会総会&花見、社民党中津支部幹事会
4月9日	(日)	地元平成会スポーツ合宿(10日まで)
4月11日	(火)	春の全国交通安全運動(21日まで)、新大塚老人憩いの家改修の要望書提出
4月12日	(水)	城北中学校入学式
4月13日	(木)	北部小学校入学式
4月15日	(土)	県政市政報告会in耶馬溪、北部校区なぎさサロン
4月16日	(日)	なかつ文化EXPO2017、新大塚町防犯パトロール、米山町春祭り
4月17日	(月)	ドローン操作議員研修会
4月18日	(火)	県政市政報告会in小楠
4月21日	(金)	おこぼさま参拝
4月22日	(土)	市民と中津市議会の集いin三光、南部校区
4月23日	(日)	市民と中津市議会の集いin北部、新大塚町水路清掃
4月26日	(水)	(都)中殿米山線の整備に関する要望書、闇無町の公園整備の要望書の提出
4月27日	(木)	耶馬溪につぼん酒をつくる会総会&市長と話そう「ふれあい座談会」
4月28日	(金)	都市計画マスタープラン事前説明会、豊寿園竣工式
4月29日	(土)	中津地区統一メーデー、福澤旧邸藤の花観賞会、耶馬溪新緑まつり
4月30日	(日)	新大塚町農業水路清掃、中津みなとふじまつり
5月2日	(水)	宇佐空の郷現地調査、県本部自治体議員連合会議・研修会
5月6日	(土)	米山町運動会、地元平成会例会、
5月7日	(日)	『本耶馬溪』～青い花畑フェスティバル～
5月12日	(金)	中津市都市計画審議会、北部校区自治委員会総会&懇親会
5月14日	(日)	第6回新大塚町町内親睦運動会
5月15日	(月)	自治体議会課題検討会議、耶馬溪につぼん酒をつくる会理事会
5月20日	(土)	城北中学校体育大会、北部校区なぎさサロン、日田川開き観光祭
5月21日	(日)	耶馬溪につぼん酒をつくる会田植え、蠣瀬川の大掃除
5月24日	(水)	中津市自治研究センター理事会、市議会会派打ち合わせ
5月25日	(木)	6月議会招集、一般質問受付開始
5月26日	(金)	市職員退職者会総会、建築士会中津支部総会
5月27日	(土)	地域福祉計画・活動計画研修会
5月30日	(火)	議会運営委員会、宮永角木線地元説明会、県政市政対策会議
6月1日	(木)	6月議会開会、一般質問打ち合せ
6月2日	(金)	八面山登山道の現地探査
6月3日	(土)	豊前市議会との交流ソフトボール大会
6月4日	(日)	守れ憲法！共謀罪廃案！大分県統一行動
6月7日	(水)	下水処理場ホテル観賞会
6月8日	(木)	北部公民館臨時運営委員会、北部校区青少年健全育成協議会総会
6月10日	(土)	NPO法人なかつ耶馬溪活き域きネット総会、北部校区なぎさサロン役員会
6月12日	(月)	6月議会議案質疑
6月13日	(火)	6月議会常任委員会(厚生)
6月14日	(水)	6月議会常任委員会(総務消防、文教経済)
6月16日	(金)	中津吉富線道路整備説明会
6月17日	(土)	ミライデザイン宣言「ハピカム」第1回「移住と共創」、北部校区なぎさサロン
6月18日	(日)	新大塚町防犯パトロール、蠣瀬川土手の草刈り
6月19日	(月)	6月議会委員長報告、質疑、討論、採決
6月21日	(水)	6月議会一般質問(1日目)
6月22日	(木)	6月議会一般質問(2日目)
6月23日	(金)	6月議会一般質問(3日目)、NPO法人中津まちなみ会通常総会
6月25日	(日)	新大塚町皆作祭り(のろよこい)
6月26日	(月)	6月議会一般質問(4日目)
6月28日	(水)	6月議会自由討論
6月30日	(金)	6月議会最終日、中津地区平和運動センター常任委員会



タンDEMサイクリング



県政市政報告会 in 耶馬溪



ドローン操作議員研修会



新大塚町親睦内運動会



につぼん酒をつくる会田植え



八面山登山道の現地探査

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohtsuka.com/> 又は大塚正俊のTwitterで検索して下さい。

編集後記(ひとりごと)

6月8日、同級生と一緒にミヤマキリシマの咲く久住山に登ってきました。今、山登りがブームとなっているそうです。八面山にも、お洒落な山ガールが来るような仕掛けや宣伝ができないものかと考えてしまいました。(まさとし)

